

入選

名水の里 黒部

黒部市立清明中学校 二年 上田 湊太

僕は、まだ小学校五年生の夏の時、黒部の共同洗い場に行った。実際に手を洗ってみると夏の暑さを忘れてしまうほど冷たく、顔を洗ってみてみると、とても気持ちよい感じだ。父に、黒部の天然水がつくられる工程や秘密について聞いてみると、最初に北アルプスに降った雨や雪が地下水に向かって流れて一部の用水は水田に利用され、現在は四十〜百メートル程度が生活に利用されていることを知った。

中学一年生の時、入善町の無菌パックご飯ウーケの工場を見た。ここでも、天然水が使われており、十四種類のパックご飯が売られていた。その一つの北アルプスの天然水を使ったパックご飯を食べた。水の清涼感とご飯のもちもちとした噛み応えがよく、おいしい米だ。おいしい水がおいしいお米をつくっているということを実感した。

その時、おいしい米を作るのに一番大切なのは何だろうと考えた。僕は、黒部の最高の天然水だと考えたが、他にもまだ秘密が隠されているのではないかと気になった。

僕は祖父と一緒に畑仕事や田植えをしたことがある。米を作るためには、予想以上にかかる手順が多く大変だ。代かきという泥をよくかき混ぜる作業を行い、そこから、手順を進めて春になったら田植えを始める。いろいろと調べてみると、害虫駆除や土壌の管理なども大切なことがわかった。最高の米を作るのに、たくさんの方の苦労や害虫がいなかった。さらに重要なことは、その土壌の保水性や適切な水はけだ。

学校の総合的な学習の時間に、清水の里や黒部川扇状地湧水群などについて調べて、黒部の天然水について少しずつ学び、黒部のことをよく知ることができた。

一番疑問に思ったことは、なぜここ黒部では雨や雪が多く降るのかということだ。調べた結果、黒部の気候の特徴だということが分かった。

た。黒部は、四季が明確な気候であり、冬は、とても寒く雪が多く積もり、夏は、とても暑く道路などがよく湿っている気候であった。そのために雨がよく降り、地下水を通じて自然に噴出したからだと考えた。降った雪が解けて雪解け水になり、それである天然水ができたのだと思う。自然の力を借りて作られてきた天然水だからこそミネラルなどが豊富なのだ。そして、その天然水がつけられる土地で育つから、お米もおいしいのだ。

名水の里・黒部、その土地や自然の大切さを後生にもつなげていきたい。